

あやなす映像と音楽 II

ドビュッシー、溢れる色彩 - 没後 100 年によせて -

2014 年に sonorium 共催シリーズ『映像と音楽』にて開催した「あやなす映像と音楽」、今回はその第 2 弾として没後 100 年を迎えたフランスを代表する作曲家クロード・アシル・ドビュッシーに焦点をあてます。ドビュッシーの作曲の多くは歌曲であることを見ても彼が文学を愛してやまない人だったことがわかります。当公演では、そんな文学青年ドビュッシーの一面をチェロとピアノそして映像を交えて表現します。彼が愛した『詩』。視覚というフィルターから「聴く」ことで新たな一面が発見されることでしょうか。ドビュッシーが文学からインスパイアを受け作曲を行ったように、私たちが彼の音楽や彼が愛した作品からインスパイアを受け、創造する映像と音楽が綾なす美しい瞬間を、ソノリウムの空間一杯に包みこみます。

ドビュッシーは "印象派" ?

クロード・アシル・ドビュッシー (1862-1918) は、パリで活躍した (今日では説明が不要くらいおなじみの!) 作曲家です。彼は "印象派" の作曲家として認知されていますが、画家のモネに代表されるような印象派とは全く関係が無い上、ある評論家にモネの弟子! と呼ばれたときには、心からの皮肉を込めて「それは有難いシアワセです、アリガトウ!」と言うほど印象派と呼ばれることをとても嫌っていました。1880 年代に受けた、ローマ賞コンクールの時から現代音楽の象徴とされてしまった彼も、1900 年以降にラヴェルやストラヴィンスキー等の台頭によって時代遅れの作曲家として扱われます。しかしドビュッシーが本当に拘ったのは『耳に心地の良い音楽』。当公演でも様々な "ドビュッシー" をお楽しみください! 其々の作品が醸す音の色彩にご注目を。

音楽 X 映像

私のはじめてドビュッシーに出会ったのは「月の光」だったと記憶していますが、ひとつひとつの音符の存在感とふんだんに取られた余白に、まさしく印象派のような色彩豊かな光を感じたのでした。それを嫌っていたドビュッシー本人に配慮するならば、その音たちはどのように表現したら良いのでしょうか。少なくとも光と色なしではイメージができません。たとえばドビュッシーの音楽の中に森があったならば、その森の中のとある光が集中する空間にフォーカスが合うような、そんな感覚がします。それは夜であっても昼であっても同じこと。静止した空白にポーシ…と落ちる色の雫。音楽は常に進行していて手につかむことができません。その一瞬一瞬の心に触れる瞬間、それを情景として、そしてその連続である「映像」として表現できるのかというのが、今回の私の挑戦になりそうです。(映像美術: PICA)

- 出演者プロフィール -

佐藤 翔 Sho Sato / チェロ Violoncello

桐朋学園大学卒業。PMF2008 等に参加。2016 年より桑原ゆう氏 (作曲) と「げん」結び - 音楽と文学 - を立ち上げアーツカウンシル東京の助成を受け公演を行う。三味線や合唱・演劇などとの共演等、ジャンルに囚われず幅広く活動を行う。

稲生 亜希子 Akiko Inao / ピアノ Piano

パリ国立地方音楽院最高過程ピアノ科を卒業。仏・メリニャック国際ピアノコンクール第 2 位。チャイコフスキーピアノ協奏曲を東京フィルハーモニー交響楽団と共演 (指揮 西本智実)。レミューズピアノ教室にて後進の指導にあたる。

PICA PICA / 映像 Image

アーティスト、デザイナー。演劇の舞台美術、クラシックコンサートや音楽劇の舞台演出となる映像制作、グラフィックデザインなどを行う。2016 年から PICA として絵を描き始める。多色と繊細な線の人物画が特徴。WEB: <http://ugkingyo.geo.jp/>

2018 年 8 月 25 日 (土) 17:00 開演 [16:30 開場]



前売: 一般 ¥3,500 学生 ¥2,000
当日: 一般 ¥4,000 学生 ¥2,500

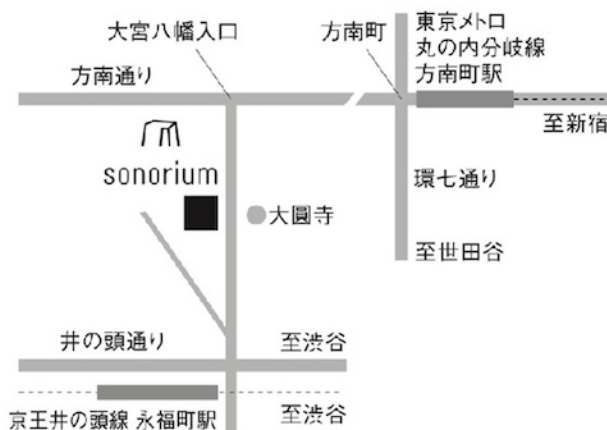
チケット予約・お問合せ

sonorium web よりお申込みいただけます
ソノリウム検索: <http://www.sonorium.jp/>
Tel: 090-3520-8534 (佐藤)



宣伝美術: PICA (<http://ugkingyo.geo.jp/>)

共催: あやなす企画実行団 sonorium



東京都杉並区和泉 3-53-16

京王井の頭線 永福町駅より 徒歩 7 分
東京メトロ丸の内線 方南町駅より 徒歩 10 分
方南町駅からバスのご利用の場合は
永福町車庫行 2 目のバス停「大宮八幡入口」下車 徒歩 2 分
* ご来場の際は公共の交通機関をご利用ください